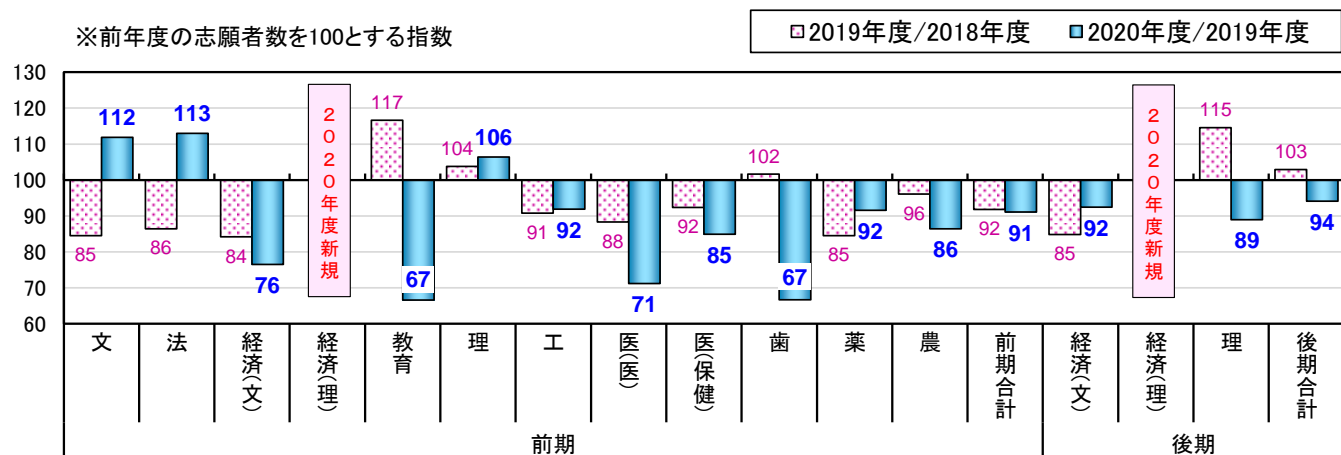


2020年度入試状況分析【国公立大】

東北大：前期は前年度と同人数の減少、後期は3年ぶりに減少 前期：-429人 後期：-85人



入試変更点	選抜方法：経済<前><後>…理系入試新規実施 募集人員：経済<前>…185人→(文系)155人、(理系)10人 <後>…30人→(文系)30人、(理系)10人 理(化学系)<前>…43人→40人 理(物理系)<前>…75人→72人 医(医)<前>…105人→77人 薬<前>…60人→56人
--------------	---

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は、429人(91)の減少。文理別では、文系は102人(93)のやや減少、理系は327人(90)の減少。後期は、85人(94)のやや減少で3年ぶりに減少。

- <前期日程>
- 文(112)は、前年度大幅減少の反動で増加。
 - 法(113)は、前年度減少の反動で増加。
 - 経済(83)は、学部全体では前年度に続き大幅減少。系統への人気の陰りから(文系)(76)は大幅減少。新設の(理系)の志願倍率は3.1倍で(文系)の2.2倍を大きく上回った。
 - 教育(67)は、2年連続大幅増加して、前年度は文系学部で唯一2段階選抜が実施された反動から30%以上の大幅減少。志願倍率も4.3倍→2.9倍へダウン。
 - 理(106)は、やや増加で2年連続増加。系別では、生物系(126)が大幅増加、物理系(114)、数学系(112)が増加、一方で化学系(85)は大幅減少。
 - 工(92)は、前年度減少の反動はなく2年連続減少。学科別では、(電気情報物理工)(102)を除いて減少、特に(建築・社会環境)(72)は大幅減少。
 - 医(医)(71)は、大幅減少で3年連続減少したが、募集人員が28人(前年度対比指数73)減少したので、志願倍率は3.4倍→3.3倍のわずかなダウンに留まり、予告倍率を超えたので全学部・学科で唯一2段階選抜が実施された。第1段階選抜の合格率は93.3%と厳しいものではなかった。
 - 医(保健)(85)は、大幅減少で3年連続減少。専攻別では、(保健/放射線技術科学)(67)、(保健/検査技術科学)(74)の2専攻の大幅減少が目立った。
 - 歯(67)は、4年連続増加と前年度に2段階選抜が実施された反動で大幅減少。志願倍率も5.0倍→3.4倍にダウン。
 - 薬(92)は、系統への不人気から前年度の大幅減少に続いて2年連続減少。
 - 農(86)は、系統への不人気から2年連続減少。

- <後期日程>
- 経済(105)は、学部全体では前年度大幅減少の反動もあってやや増加。(文系)(92)は減少して、志願倍率は14.3倍で第1段階選抜実施基準の15倍を超えなかったため、2段階選抜は実施されなかった。新設の(理系)の志願倍率は(文系)よりはるかに低い5.8倍だった。
 - 理(89)は、前年度大幅増加の反動から減少。系別では、全ての系が減少で、特に(数学系)(79)、(化学系)(81)は大幅減少。